



# 久米島町 まち・ひと・しごと 創生総合戦略

みんなが  
夢つむぐ島を  
めざそう!!



## 久米島町「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

---

日本では人口減少、少子超高齢化という大きな課題と直面しています。

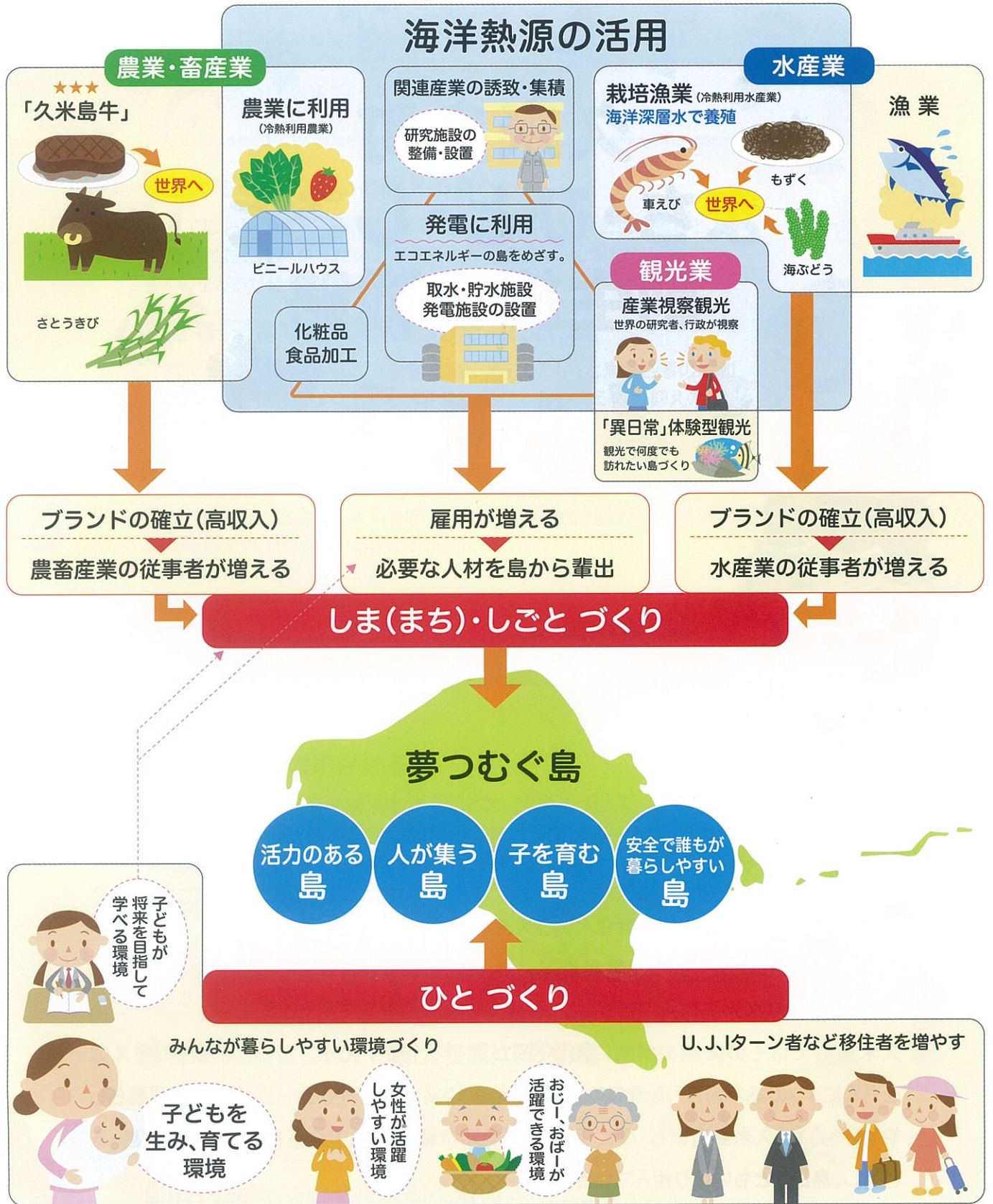
久米島でも人口が減少し、「産業が衰退」「消滅集落が出てくる」など将来予測されるさまざまな課題が「久米島町人口ビジョン」の調査内容から見えてきました。

久米島町ではその課題の解消に向け、国が進める「まち・ひと・しごと創生」の考え方をもとに4つの基本目標「活力のある島」「人が集う島」「子を育む島」「安全で誰もが暮らしやすい島」を「久米島町まち・ひと・しごと創生総合戦略」として位置付け、「夢つむぐ島」を目指し、島民とともに取り組んでいきます。

---



# 久米島町「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が目指す久米島の将来ビジョン



産業のブランド化や、地域の資源を活かした新産業をつくり出すことで仕事・雇用を増やしていきます。同時に島の誰もが暮らしやすい環境づくりを進め、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立し、「まち(しま)」の活性化につなげ、みんなが夢を持ち、夢をつむぐ島を目指します。



# 「夢つむぐ島」を目指す久米島の4つの基本戦略

1

## 活力のある島

島の人口を増やすためには、仕事の間を生み増やすことが不可欠です。そのためにも安定性のある産業を増やし、さらに、島に暮らす若者が新たな産業を起こせるよう、環境づくりを進めていきます。

### 地域資源を活かした新産業をつくりだす

海・山・畜産・畑・伝統工芸など、島が誇る豊かな地域資源を活用し、新たな産業の開発を行うことで、島での仕事の間を増やしていきます。

### 人材の豊富な島

仕事や産業を受け継ぐ人を育てたり、新たに働く若者を増やすために、人材づくりにも力を入れます。

特に若者には、幅広い知識と専門性が身につくようにし、島の産業の発展につなげていきます。

### 仕事をつくりだせる環境

若者が、自らの手で仕事をつくり出せるような環境づくりを進めます。これにより島が活性化し、島で働く人が増えることが期待されます。



2

## 人が集う島

島に訪れたい、島で暮らしたいと思える島づくりを目指し、Uターン者の増加や移住促進を進めていきます。特に子ども達が島でずっと暮らしたいと思え、島を離れても、将来は島で活躍したいと思えるような環境づくりや教育には島全体で取り組み、心豊かな人々が集う、魅力ある島づくりを目指します。

### 人と人をつむぐ島

子どもから大人まで、自分たちの役割を信じ、お互いを高め合える環境づくりを目指します。また、お互いに尊重しあえる環境や子ども達がより誇りをもって育っていける環境づくりを進めていきます。

### 何度も訪れたい島

観光によるリピーター(久米島ファン)を増やし、より安定した観光収益が得られる体制づくりに取り組みます。また、観光客などが増えることで活気づく事業を考え、推し進めていきます。

### 移住・定住したくなる島

島外からの移住を、島の将来的な発展や島の高齢化対策につながるよう、考え取り組みます。また、島にUターンできる環境や、Uターン、Jターン、Iターンなどがしたくなるような魅力ある制度などを考案し、実施していきます。

### より高度でおもしろい島

産業だけでなく、高度な技術や学問などに関する施設を置き、著名人やその道の専門家などが交流できる場をつくり「おもしろい島 久米島」「興味深い島 久米島」「より高度な知識が身につく久米島」づくりを目指します。





## 「夢つむぐ島」を目指す久米島の4つの基本戦略

3

### 子を育む島

島の、合計特殊出生率<sup>※1</sup>が全国で2位という強みを活かし、島で子どもを生みたい、育てたいと思えるような環境を整えることで、島で暮らしたいと思う若者の増加が期待できます。また、子ども達が安全に安心して過ごせる環境づくりを進めます。

※1 合計特殊出生率とは…1人の女性が生涯に何人の子供を産むのかを表す数値。15歳～49歳の女性の年齢別出生率を合計したものの。

#### 子どもを育てたいと思える島へ

子育てに必要な情報提供や設備の充実、住環境の整備を進めることで、島で子どもを産み育てたいと思える人が増え、人口の増加が期待でき、多くの子どもが健やかに暮らす「活気ある島」づくりへとつなげていきます。

#### 若者(子育て世代)が暮らしたいと思う島

子育て環境をより良く整え、「家族で島に暮らしたい」と思う若者の増加を狙います。これにより、若者が島外へ移住したりするのを抑えたり、逆に、島への移住が増えることなどが期待できます。

#### 子どもが楽しく安心して過ごせる島

子ども達が安全に遊び、安心して学べるような環境を保ち、子ども達の成長を島全体で見守っていきます。



4

### 安全で誰もが暮らしやすい島

元気な高齢者づくり事業や、高齢化にともなう一人暮らし世帯の生活支援などもふまえた案を実施し、すべての島民が安全で、いつまでも元気で楽しく暮らせる島づくりを目指します。

#### 美しい自然環境が残る島

島の海や山などの自然環境を守ることで、災害のない美しい住環境を整えます。また、衛生面での環境改善にもつなげ、病の少ない元気な島づくりにつなげていきます。

#### 生涯現役社会の実現

高齢者が生き生きと元気に暮らせる島を目指します。また、高齢者の買い物支援や、自動走行車を使った移動の支援なども進め、高齢者にとっても住みよい島づくりに取り組みます。

#### 伝統(コミュニティ・文化・芸能)の残る島

若者から高齢者までが、その世代の役割をしっかりと自覚し、世代を超えた交流を行い、さらに地域間の交流を活性化することで、島全体の活力が高まるよう働きかけます。

#### ICT活用による条件不利の解消

ICT<sup>※2</sup>を活用することで、島の地理的な不利な条件を解消します。例えば、ICTを利用した高度な教育プログラムの実施や、ICTを活用した高齢者の生活支援など、住民サービスの向上をはかり、住みよい島づくりにつなげます。

※2 ICTとは…Information and Communication Technology (インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー)の略で、通信技術のITとほぼ同意語。「情報コミュニケーション技術」と訳されています。

